

## 駅

ここで降りる

するするとホームに到着する電車の音  
そこから降りてくる人々のランダムな靴音

私、は居ない  
私たち、が居る

理由のない涙こそは  
生きることの恍惚の証

空疎で、だけれども透明  
そこから滲み出てくる次の一瞬

まるで死の向こう側に居るかのような  
そこから眺めているような——生の時間

贅沢にこぼれ落ち  
そして流れてゆく

道、ではなく  
2本のレールへと流れてゆく

そこへ吸い込まれてゆくもの  
まるで澄んだ川の水のような

美しい銀色のレール  
それに従うことの、更なる美

ああ、また電車が到着する  
2本のレールに乗って滑るように

その下へと吸い込まれてゆく  
そこへと倒れこむことの恍惚

ここで降りる

(2009.11.5)